

医局員紹介 東京医科大学八王子医療センター眼科 准教授：野間英孝

早いもので当院に赴任して9年目になりました。その間、一年間の米国留学も経験でき新たな知見を得ることができました。

現在、黄斑疾患(糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性)を中心に診療しております。黄斑は視力を司る眼底の中心にあり、むくみ(浮腫)や新しい血管(新生血管)を生じると視力低下を来たしてきます。20年前から黄斑疾患の眼内のサイトカイン(タンパク質)について研究しており、血管新生因子(VEGF)が代表的な悪玉であることを突き止めてきました。今ではこのVEGFを抑制する薬が黄斑疾患に対して保険適応となり改善できるようになってきました。とはいえ、まだまだ根治できるような治療法ではありませんので、遷延したり、改善しない場合は、最新の機器で硝子体手術を行っています。

今後は、現状の医療に決して満足することなく、新たな診断法や治療法の開発を心がけ、世界レベルに一步でも近づけるよう最先端の医療技術や臨床研究を行い地域の医療に貢献するとともに、八王子から世界に情報をどんどん発信できるよう目指していきたいと思っております。

最後に現在、コロナ禍で大変な状況ですが、コロナに負けず、みなさまの視力をよりよくし、地域のみなさまが幸せになっていただけますよう今自分にできることを一生懸命努力して参ります。

